



なぎがまCSだより

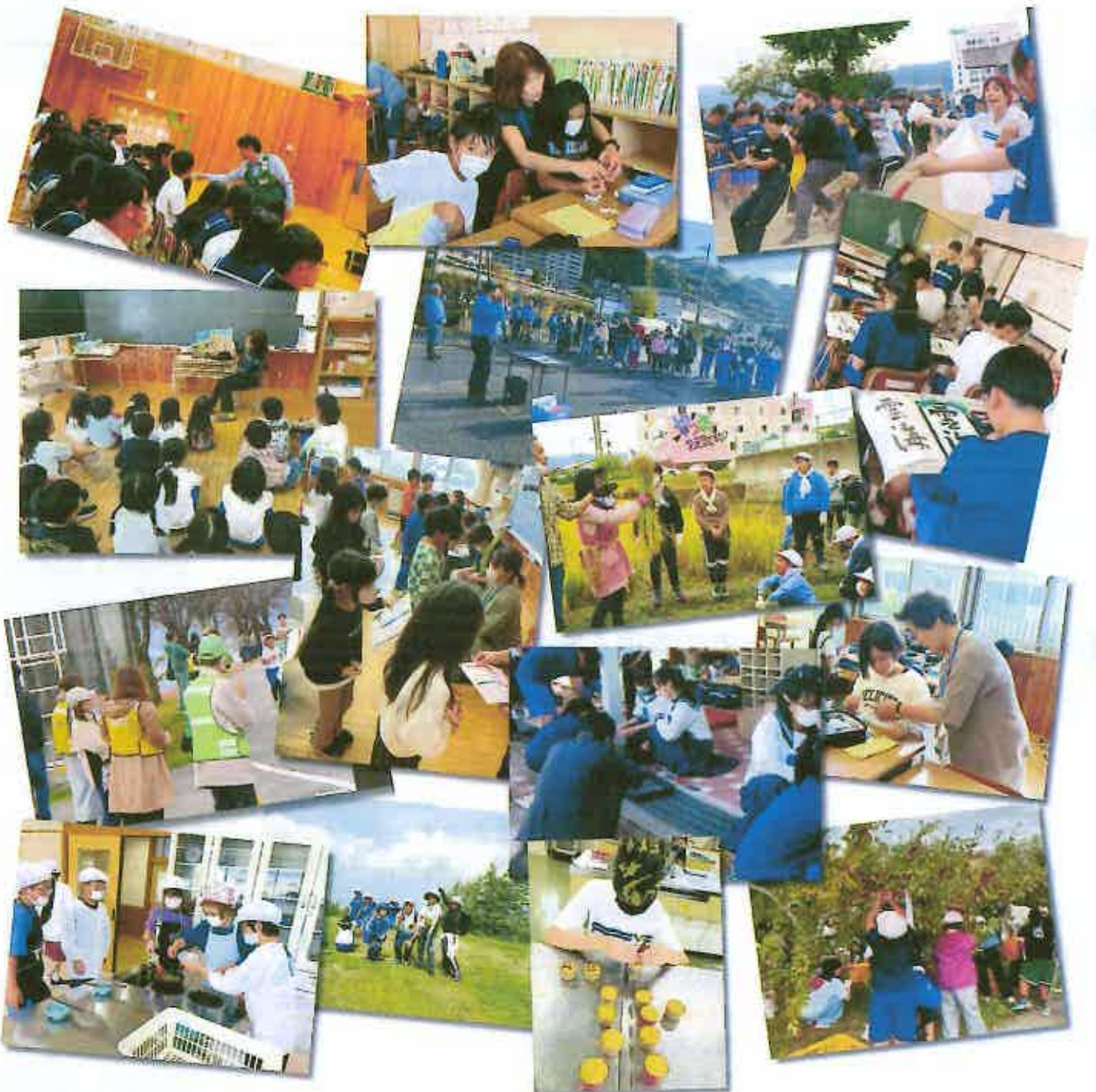
発行責任者 萩田 均
編集 栗 広 報 部

【なぎがまCS事務局】
下諏訪中学校 ☎27-3000
下諏訪南小学校 ☎27-5000

令和7年度

学習支援活動を拡充！

今年度は特に「学校支援」に力を入れ、子どもたちの学習支援活動をたくさん行うことができました。令和7年度に行われた取り組みをご紹介します。ぜひお読みください！



TOP MESSAGE なぎがまコミュニティスクール(CS)、活発な支援活動を目指して

4月、令和7年度より運営委員長になりました萩田均と申します。2015年4月に発足しました“なぎがまコミュニティスクール(CS)”も西村厚初代運営委員長、本山公之2代目運営委員長を引継ぎ、運営委員の皆様、コーディネーターの方々、学校の協力のもと、新たな体制によりスタートしました。当初よりコミュニティスクールとは何か、何をするとどこかを話し合い、特に子どもたちを笑顔にし、より一層の学習環境を作るため、学習支援のためにチラシを作成し、支援ボランティア募集をさせていただきました。先生方の協力と子どもたちの学習に少しは手助けできたと思います。実施しました取り組みにつきましてはこのお便りに記載しました。ご覧ください。

今までの安全環境を含む支援活動に新たな取り組みをプラスすることができ、子どもたちにより良い学習環境と学校生活がおくれますよう、地域の方々の力をお借りして、これからもPTCA(保護者、先生、地域)の考えのもとに、連携して子どもたちのため支援し、学校を応援していきたいと思っております。より一層の支援、応援が充実しますよう、皆様の参加協力をお願い申し上げます。

なぎがまコミュニティスクール運営委員長 **萩田 均**



MESSAGE 地域の方に支えられて育つ子ども

本年度も、なぎがまコミュニティスクールの皆様の温かいご支援により、子どもたちは生き生きと学び、地域の「もの・ひと・こと」に触れながら、豊かな体験を重ねることができました。

学校支援部の皆様には、「読み聞かせ」や「授業支援」など、新たな支援の輪を広げていただきました。読み聞かせでは、子どもたちが絵本や紙芝居に目を輝かせ、物語の世界に引き込まれる姿が見られました。授業支援では、図工の制作、家庭科の調理や裁縫、算数の個別学習など、さまざまな場面で学習を支えていただきました。また、「子ども見守り隊」の皆様には登下校や校外活動を見守っていただき、「地域講師」の皆様には料理や町探検、日本文化などのクラブ活動を通して、子どもたちの学びをより豊かなものにしていただきました。地域の皆様に支えられながら、子どもたちが健やかに成長していることを実感し、心より感謝申し上げます。今後も、なぎがまコミュニティスクールの皆様のご理解とご支援をいただきながら、南小学校の子どもたちの健やかな成長を大切にしていきたいと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。

下諏訪南小学校長 **野村 修治**



MESSAGE できることでご支援ください

なぎがまCSの皆様、支援ボランティアの皆様には、今年度も様々なご支援をいただき感謝申し上げます。ある会議でなぎがまCSの発表をしたところ、「CSでは学校もCSの方もWin-Winの関係を目指すとよい」と話す方がおられました。今年度を振り返ってみると、読み聞かせの方の中で「生徒さんから逆に教えてもらった」とか「うれしい言葉をいただいて涙が出ました」とおっしゃられた方や、別の学習支援の方で「私が楽しいから来ているんです。子どもたちと作るのはおもしろいですよね」とおっしゃられた方のことを思い出しました。会議では「CSの方と生徒または学校とで一緒につくり上げていく」とか「同じ価値を共有して歩む」とか難しいことも言われました。そのようなことには及ばなくても、まずは、CSの役員さん方が心を砕いてくださっている学校の困ったを救いたいという思いをありがたくいただいてこれからもお世話になりたいと思っています。そして、その活動や交流の中で自然に生まれる何かや、続いていくことで生まれる絆などを大事にしていかねばと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

下諏訪中学校長 **矢島 和明**



11月6日下中で行われた「夢いきいき講演会」は、防災士の宇佐美智也さんをお呼びしました。実際に能登での支援活動の様子をスライドや動画で見せていただき、災害時「中学生としてできること」も教えていただきました。日頃から防災への意識を高め、備えをしていく必要性を改めて考える機会となりました。



宇佐美智也（うさみともや）さん

【肩書】 防災士日本防災士会長野支部事務局長

【経歴】 1983年生まれ43歳愛知県春日井市出身

現在、長野県諏訪郡下諏訪町在住

三姉妹（中1、小5、小3）のパパ

令和6年能登半島地震石川県珠洲市避難所支援活動

防災減災セミナー、ワークショップの企画運営及び講師

【実績】 下諏訪町防災キャンプ、下諏訪町防災講演会、

下諏訪町避難所体験、下諏訪町小学校PTA防災講座、

諏訪教育会教員向け防災講座、

諏訪防災ネットワーク防災講座等活動中



◎防災減災のことなら...何でもご相談下さい◎

防災教育、防災減災ワークショップ、避難所体験、防災グッズづくり...

携帯：090-4236-7435

mail：usami.bousai@gmail.com



★生徒の感想★ 2年 長崎花帆さん

2年前の能登の震災はちょうど元旦で、親戚と一緒に過ごしていた時に大きな揺れを感じました。長野でも大きな揺れを感じて動揺した事を覚えています。講師の方からその震災後にボランティアで活動をされたお話を聞き、自然災害が起きた時の大変さを知ることができました。どのような対応をするべきなのか、日頃から心がけること、地震は他人事ではなく身近なことなんだと気付かされました。災害は予測できないものなので、日々備えていきたいと思いました。

読み聞かせ支援

南小読み聞かせ始めました!!

読み聞かせ部会 河西澄江

下中の読み聞かせが始まったのが平成18年だったかと思えます。来年度で20年。月1回の読み聞かせはボランティアもとっても楽しみにしています。開始5分前には生徒が迎えに来てくれて教室に行くと机は後ろに下げられ、生徒たちはもう聞く体制で待っていてくれます。そして、読み聞かせを静かにじっと聞いてくれます。今年度の終りの会では続けてよかったという声が多数聞かれました。

更に今年10月から南小での朝の読み聞かせが始まりました。なぎがまCSやPTAの役員など多くのボランティアが関わってくださるようになりました。星の話や、ほっとする話、笑える話、心にしみる話、認知症の話、諏訪湖に飛来した「大鷲グルの話」は「大型紙芝居」として楽しませてくださるなど、多種多様な本の読み聞かせです。

長い学校生活のほんのわずかの時間ですが、先生以外の大人が来ていろいろな世界が広がって、それがクラスの中だけか一人の心に響いてくれればいいなと願っています。



今年度も地域のコーディネータの方々や、保護者の方、民生児童委員の皆様、地域の皆様と共に様々な支援活動が行われました!

★2年生 九九暗唱



★5・6年生 家庭科(裁縫・ミシン・調理)



★中学生 書道



★南小 クラブ活動地域講師

- ・日本文化
- ・料理
- ・凧
- ・将棋
- ・町探検
- ・スポーツ吹き矢
- ・ニュースポーツ
- ・サッカー
- ・水辺生物環境観察
- ・3B体操

※凧作りの様子



★その他、水泳指導、稲作指導などの支援も行われました!

▶▶▶ 支援に参加した方々の感想



※支援ボランティアを募集しています!
詳しくは7,8ページをご覧ください!

子どもたちとの調理実習は、とても楽しかったです。6年生なのでわかる子が進めていってくれて、見守るだけで子どもたちとお話ができて、楽しかったです。

お子さんたちのパワーすごかったです。2回つまずいたお子さんに、「ごめん。もう1回」と言わざるを得ず。でもくじけず練習して、再度挑戦。見事シールをゲット。感動しました。

子どもたちの喜んでいた顔がとても良かったです。大量に汗をかきながら、こちらもかなり必死でしたが、子どもたちも必死に頑張っている姿、できて喜んでいる姿が見れてとても清々しい気分でした。

「先生～!教えてください～」なんて子どもたちに言ってもらって嬉しかったです

みんな何度も挑戦して、頑張っていました。頑張っている姿を近くで見れて嬉しかったです!できた時の笑顔は最高でした～

一の段など言いづらいのに頑張って暗唱してる姿等とても可愛く、合格シールを貰うとニッコリホッ嬉しそうな笑顔に私のほうが癒されました。

全員無事完了!どの子も満足そう私まで嬉しい気持ちとパワーを頂きました!

書道指導 福井 智恵子・川村 恵子

約60年前のかつての中学生だった頃に思いを馳せながら書道サポート。様変わりした授業風景 先生との距離の近さに驚き「自由すぎ!?!」とちょっと首を傾けましたが、アドバイスを素直に受け止める姿勢はかつての中学生に通じると はっとしました。自由な生徒達をまとめ導く先生方の苦勞を間近に見てなごがまCSの必要性も痛感しました。生徒達とのふれあいは楽しく、元氣をもらいました。

野菜でスイーツ作り 林 繁子

自らが栽培収穫したカボチャとさつまいもを使ってのスイーツ作り。作りたいメニューを選び手書きレシピに落としこむところからのスタート。レシピに従い正確な計量や裏ごしなどのていねいな手順。焼き時間の微調整し大きなハプニングもなく完成。不安が強かったり集中する時間が短いメンバー。疲れたら休む、協力しあうことを私から伝えながらの作業。作業中、普段出せない本音がもれたりやる気がみなぎる瞬間があり、楽しい実習になりました。なごやかな笑顔と笑い声での試食会は市販にない風味を味わい成果を確認。クッキー、カップケーキ、大学いもなど9種。

「レシピは裏切らない」名言が続出。「菓子作りは“科学”だ!!」大成功です。



登山見守り 滝口 陵太

ボランティアとして3名の仲間とともに参加しましたが、自分は登山経験はほとんどありませんでしたので、はじめは不安もありました。登山前に簡単に自己紹介をしましたが、生徒達が明るく元気な声で挨拶してくれたので不安も緊張もだいたい無くなりました。いざ登山が始まると、友達と話しながら登っている生徒や黙々と登る生徒など様々いました。後半になると列から遅れている生徒もおりましたが、声をかけたり背中を押してあげたりしてゴールまでたどり着くことができました。頑張っている様子、楽しく会話をする様子を見ると、無事に終わったことがとても嬉しく思いました。生徒によってペースは様々で、列からはみ出て歩く生徒もおりましたが、一人ひとりの個性の違いを感じられてよかったです。これからも生徒達がのびのびと健やかに過ごしていけたらいいと願っています。

環境整備支援

子どもたちとの地域貢献活動

地域支援部 太田 淳也

>>> ガーデンプロジェクト マリーゴールド栽培

4月12日「花いっぱい、笑顔いっぱいの下中いしたい」と委員長さんの挨拶がありました。整備委員・先生お二人と校長先生・教頭先生・地域の久保田みすず様にマリーゴールド種まきをご指導いただき、小さなポットに種を撒きました。

町内の学校で育てた花で町を花いっぴいにしよう各学校が苗を育て、7月19日配布会を行いました。

マリーゴールドとジニアの苗が手渡されました。



>>> 南小みんなでピカピカ大作戦

9月6日 今年も100名を超える親子にご参加いただき、南小のトイレやグラウンド・中庭などの清掃活動を行いました。

清掃終了後にはPTA主催でボランティアの方々がおたのしみタイムを用意してくださり、子どもたちはかき氷を食べたり、射的やくじ引きなどをして楽しみました。

>>> 諏訪湖浄化プロジェクト ブナ林整備・ゴミ調査

4月27日、諏訪湖浄化のための里山ブナ林整備を下中生徒48名校長教頭先生、諏訪湖RC20名において実施しました。

11月1日 県、諏訪湖創生ビジョンの実施する湖周一斉まるまるゴミ調査になぎがま学校支援として諏訪湖ロータリークラブ20名下諏訪中学校80名南小学校28名社中学校8名湖浄連4名合計140名でゴミ調査と考察をしました。湖周4カ所での参加者は約300名下諏訪会場において多くの子どもたちと諏訪湖と環境問題の有意義な勉強ができました。前日までの雨も写真のように晴れ清々しく学習できました。



>>> 登下校や校外学習の安全見守り

4月10日 交通見守りをして下さる少年警察ボランティアの皆様との今年度の交通見守り挨拶会があり、ボランティアさんとお話ししますの挨拶をかわし、一年通して見守りのお世話になりました。



>>> 南小元気ぐんぐんランニング コース見守り

今年も少年警察ボランティアの皆様と、南小PTAボランティアの皆様によりコースの見守りが行われました。



地域交流支援

>>> 乙女りんごの花摘みと収穫

「春に花摘みをしたのが実ってうれしいです。おいしいリンゴです。ぜひ味わってください」と農家組合の花岡さんの挨拶があり、たわわに実ったリンゴをみんなで収穫しました。



〔乙女リンゴ収穫の感想〕

小さい乙女リンゴは力を入れなくてもとれて、たくさんとれました。とても楽しかったです。友だちと二人で20個とりました！

>>> 学用品おゆずり会

南小PTA主催で学用品おゆずり会が行われました。町内小中学校に加え、保育園の保護者の方々も参加し、楽しく交流しながら様々な品物を交換し合っているのが印象的でした。次回開催にも期待！



>>> 荒汐部屋との相撲交流

今年も荒汐部屋との相撲交流がありました。部屋の関係者や力士が来校して、南小では相撲の土俵での「型」や土俵の上で子ども達と胸を合わせた取り組みを見せて下さいました。相撲交流の後は教室にて一緒に給食を食べました。下中では力士のお話や生徒達の質問に答えていただき、鬘を結う実演があり貴重な体験となりました。



居場所支援

なぎがまCS居場所コーディネーター ローパー美由紀

下諏訪町には、様々な子どもの居場所づくり団体があります。今回はそのうちの2つを紹介します！

「ホッとする親の会」

参加対象 大人・子どもどなたでも

活動日時 毎月第2金曜日
午後7時から8時半

活動場所 下諏訪総合文化センター

親の居場所 2階和室・無料・予約不要



保護者が集まり、月に一度のお話し会をしています。一回参加、話せばなし、聞くだけ参加も大歓迎。「わかるわかる！」「うちもそうだよ！」不安やモヤモヤな気持ちを温かく聞き合い「ホッ」とした気分になります。

子どもの居場所 軽体育室、調理室、音楽室など 子ども一人100円・要予約

親の会の裏でキッズプログラムを別室開催。地域のボランティアさんたちに見守ってもらいながら、毎回やりたいことを実践（例：クラフト、おやつ作り、クイズ大会、アート、ヘアメイク、ダンス、ボードゲーム、読書会、自由遊び）。地域のイベントのお手伝いをすることもあり、地域のいろんな方たちと「斜めの関係」を築くこと（親以外の大人との関わり合い）も大切にしています。

「サンサンビレッジ」



12月28日 お餅つきをしました。子ども達も杵を持たせてもらい餅つきを体験。あんころもち、きなこもち、のりしょうゆもちを味わいました。

サンサンビレッジでは定期的に子ども食堂やワークショップ等のイベントを行っています。

ぜひお越しください！
みんなの居場所サンサンビレッジ
高橋幸治



お問い合わせ hotto.shimosuwa@gmail.com (連絡係ローパー)

特に以下の分野での活動ボランティアを募集しています！

学習サポート

学校の要請に応じて、各学習時間にクラスに入って活動支援のルールなどについての研修会を実施予定

【小学校】

- ①九九暗算チェック
- ②ドリル〇つけ
- ③図工補助
- ④習字補助
- ⑤体カテスト計測
- ⑥音楽会 パート練習補助
- ⑦水泳監視サポート
- ⑧調理活動補助
- ⑨ミシン・裁縫授業補助

【中学校】

- ⑩書道の指導、補助
- ⑪ミシン学習補助
- ⑫水泳授業補助
- ⑬授業時個別支援
- ⑭英語パフォーマンステスト練習補助
- ⑮校外学習見守り
- ⑯登山同行(安全サポート)
- ⑰特別支援学級自立活動補助
(野菜作り、スイーツ作り)



読み聞かせボランティア



読み聞かせ研修会を実施予定

小・中学校にて毎月1回程度の読み聞かせ

(朝8:15~8:30 各教室にて)

読書週間中の企画参加 など

その他

- ⑱学校施設整備協力
- ⑲花栽培指導、手伝い
- ⑳ICTサポート(情報端末操作補助)
- ㉑行事協力(テント設営、撮影 etc.)



Q&A

Q:特に資格や技術がなくても、活動に参加できますか？

A:もちろん大丈夫です。補助活動については経験や知識技術の有無は問いません。子どもたちの笑顔のために、お力をお貸しください。

Q:活動日時はどのように決まり、どのように連絡がきますか？

A:学校から運営委員へ連絡が入り、運営委員から各ボランティアの方に連絡をいたします。参加可能な方がいっしょに活動する形になります。

Q:仕事の都合もあり、活動する日や時間、回数が指定されると困るのですが大丈夫ですか？

A:全く問題ございません。こちらはボランティア活動ですので「都合の良いときに都合のつく範囲で」ご参加いただければと考えております。みなさまには無理をなさらず、長く続けていただけるような活動にしたいと思っておりますので、お気軽にご参加ください。



編集後記

今年も編集を担当させていただきました。無事に第21号が完成しほっとしています。活動を振り返るとこの1年間で本当に多くの支援を地域の皆様・保護者の皆様とおこなってきたのだと感じます。少子化も進み、保護者の働き方や先生方の働き方も変化しています。そんな中ですが、子どもたちの笑顔に触れながら、多くの人と協力して活動できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今後も皆様と一緒に子どもたちのために活動できることを楽しみにしています。今後よろしくお願いいたします。

広報委員 小林理恵

なぎがまCS広報委員長とは言い難い働きで肩身が狭いです。部員の皆様の力の結集です。一年間のたくさんの活動をご覧ください。やっと世の中の動きがもどってきたことを実感する一年となりました。今年はなぎがまCSボランティアの皆様とともに・保護者の皆様・先生方と「力を合わせて」子ども達の様々な学習や体験のお手伝いをさせていただき、とても楽しい一年でした。新しい学校の姿を目指すなぎがま・小・中学校 さまざまな人々の熱意と力が合わさって元気ななぎがまコミュニティースクールの子ども達が育って羽ばたいていただけるように、これからもコミュニティースクールの皆様のご協力と調和が長く続いていきますように願います。

広報委員長 風間真由美

保護者&地域のみなさま

子どもたちのために活躍してみませんか？

一緒に子どもたちの支援活動をしませんか？

下諏訪においてコミュニティスクール(CS)が始まったのは2008年北小学区(ノース下諏訪ネットワーク)において国の特区としてスタートしました。南小学区は2015年「なぎがまコミュニティスクール」として長野県下でもいち早く取り組みを始めました。

CSとは学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちを育てるために、下諏訪町の協力により、組織された団体です。今までもこの趣旨のもと、本の読み聞かせ、安全環境支援、学習支援を様々な実施しています。ここで今までの取り組みにプラス、新たな支援を広く、保護者の皆さん、地域の方々にボランティアとして参加いただきたく、募集をすることにいたしました。

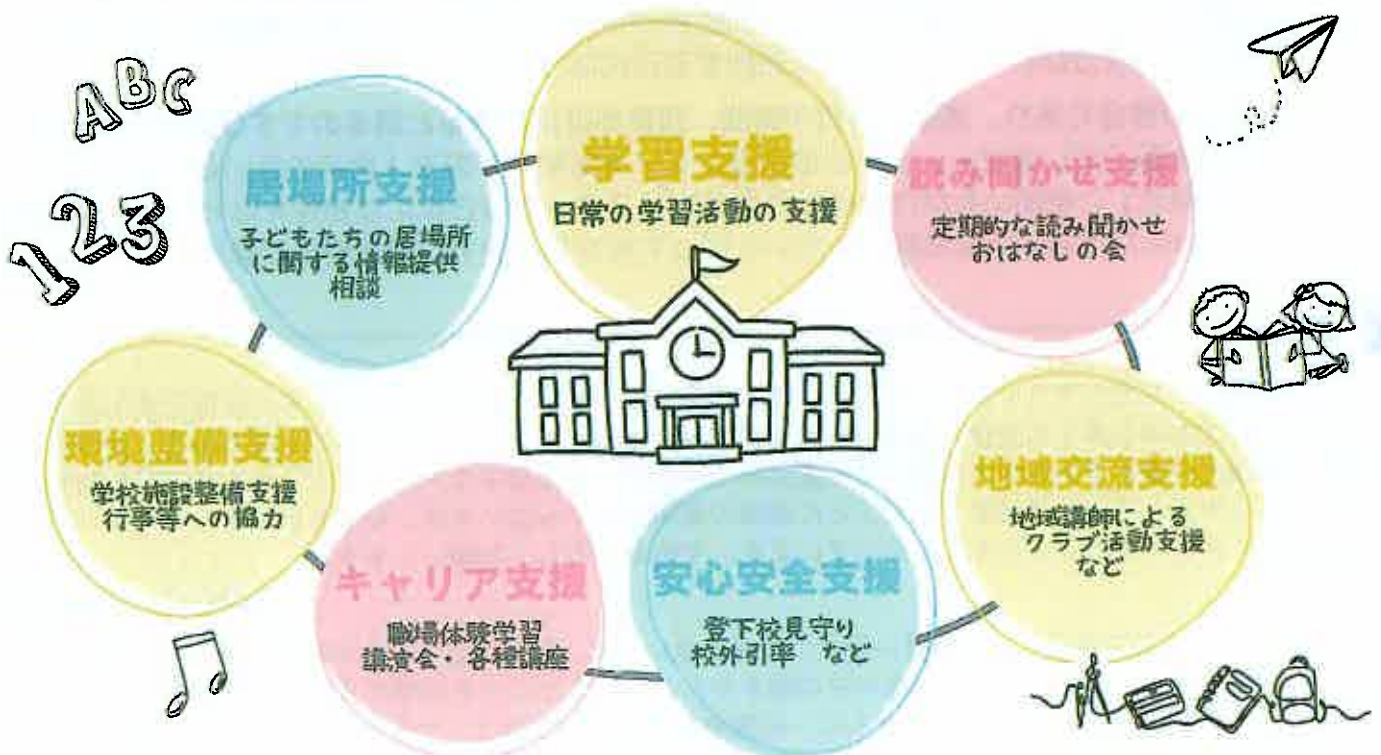
つきましては、下記裏面、現在の活動と新たな活動取り組みをお読みいただき、子どもたちの学習や成長のためにお力をお貸しいただければ幸いです。無理なく子どもたちと楽しく、ご自分の趣味や特技を生かすつもりで、お気軽にご参加ください。

なぎがまコミュニティスクール
運営委員長 萩田 均



なぎがまコミュニティスクールの組織・活動内容

学校からの支援要請に応じて、コミュニティスクール運営委員や各種コーディネーターが学校との調整を行いながら都度ボランティアを手配して活動しています。(PTA役員も運営委員として活動に参加しています)



大勢のみなさまのご参加をお待ちしております！

詳しくは裏面をご覧ください。申し込みは、用紙の提出の他、電話やFAXでも随時受け付けております。

下諏訪南小学校 ☎ 27-5000 FAX 27-5049 担当 宮澤 (教頭)
下諏訪中学校 ☎ 27-3000 FAX 27-3001 担当 久保田 (教頭)